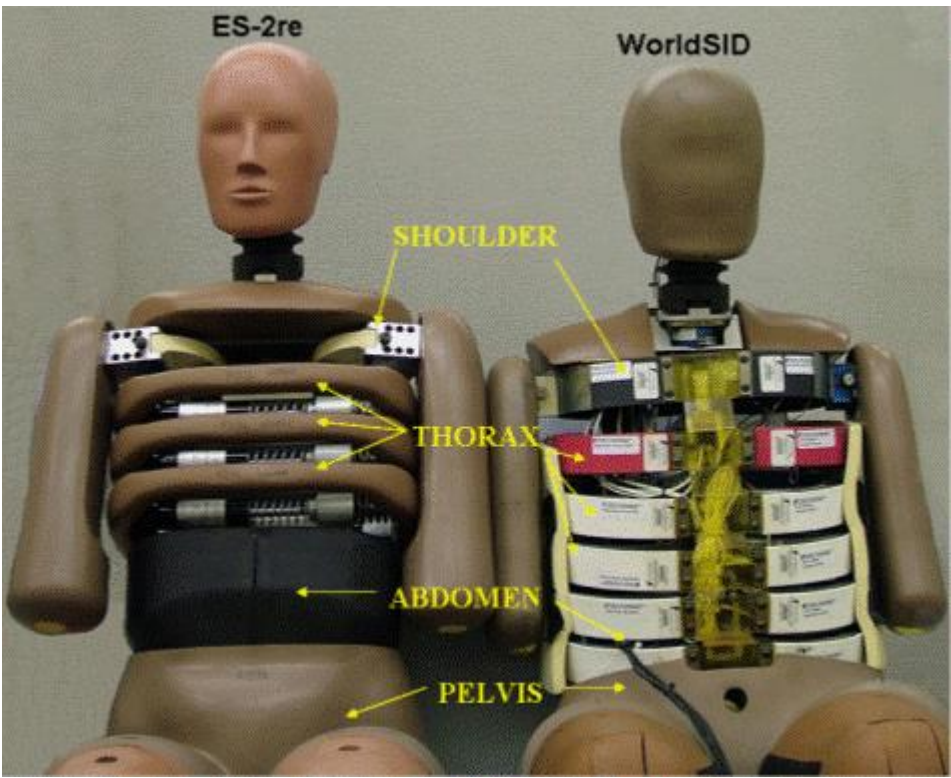


# JNCAP 2018 側面衝突試験ダミーWorldSID の妥当性について

# WorldSID 50<sup>th</sup> maleの改善点

- 頭部、胸部、腹部の生体忠実度(構造、力学応答)が向上している\*。
- 腹部の計測器を荷重計から変位計に変更することで、傷害リスクの予測精度が向上している。








ES2	WorldSID
<p>THORAX</p>	<p>THORAX &amp; ABDOMEN</p>
<p>ABDOMEN</p>	
<p>THORAX : 変位評価 ABDOMEN : 荷重評価</p>	<p>THORAX : 変位評価 ABDOMEN : 変位評価</p>

\* ISO TR9790 (側面衝突条件にて実施されたPMHS試験結果に基づいて 50th Percentile Male側突ダミーの推奨特性を定義したTechnical Report)

# WorldSID 50<sup>th</sup> maleの導入動向

- WorldSID 50<sup>th</sup> maleは、1998年より約15年かけて日米欧共同で生体忠実度を向上させることを目的に開発された統一ダミーである。
- GTR14ポール側面衝突、UN R135ポール側面衝突で採用されており、各国法規に導入される。
- EuroNCAPを頭出しとして各国NCAPでも採用拡大の動きがある。

仕向け	Regulation/NCAP	CY2017	CY2018	CY2019	CY2020	CY2021	CY2022	
EUR 	GSR (EU)				TBD			
	EuroNCAP	2015~適用済み						
JPN 	保安基準	新型のみ	◎New:2018/6~					
	JNCAP		TBD					
AUS 	ADR <small>乗用車の場合</small>	◎New : 2017/11~			◎All2021/11~			
	ANCAP	2018~ Euro2015方式						
PRC 	CNR	適用日の情報なし						
	CNCAP		2018~					
USA 	FMVSS	適用日の情報なし						
	USNCAP		2018/1~ TBD					